

新しい役員体制でスタート、ともに頑張りましょう!

6月3日の県大会・17～18日平和委員会全国大会を受けて第1回常任理事会を7月1日開かれました。06年度年間計画・役割分担・当面の取り組みなど討議しました。以下大要を報告します。

1. 今年度は初めての常任理事会ということで、「現在の県及び各平和委員会の力量の到達点」、「いま、平和委員会に求められている運動は何か」、「また、地域の方々は我々の運動をどうみているか」等をはじめに討議しました。そこでは、「2・25県民集会」で再建以来はじめて県内平和運動においてセンター的機能を果たせた事。今後はその期待と役割が高まる事。地域においては温度差はあるとしても、平和委員会の存在は知れ渡り、共感を得ている事。問題はその共感が運動にまだ充分繋がっていない事などを確認にみんなが自信をもって前進しようと決意しました。

2. 当面の取り組み

(1) 「米軍再編成と百里基地」学習会を成功させよう：自衛隊と米軍がこれまでとは質的に異なり本格的に戦争する準備体制に入ったことを全国の基地の実態と運動を踏まえて学習します。全国の状況を把握している千坂さんの話は時宜に適っています。各平和委員会・平和の会は誘いあって参加してください。開催要綱は右の欄を参照。

(2) 8月15日に向けて各種つどいを活発化させよう：土浦・水戸西・守谷・阿見などが「つどい」を行います。他の平和委員会・平和の会でも規模のこだわらず写真展・学習会など実施しましょう。石岡では8月26日に9条の会発足の準備に入っています。

(3) 原水爆禁止世界大会に代表を送り出しましょう。現在6月30日～7月11日まで県内平和行進が行われています。地域実行委員会に協力して成功させましょう。加藤代表理事が県内通し行進者として元気に行進しています。

(4) 今年は9月3日(日)に第2回理事会・9月24日(日)に県平和委員会の活動交流集会を開き、秋の取

り組みの意志統一を行います。

3. 持続的な仲間づくりを

(1) 昨年度100名以上の仲間を増やしましたが、80名もの退会者があり改めて仲間づくりの困難さを痛感しました。今年度は実増100名という方針です。実現のためには日常的に仲間づくりを追っていける体制をつくる必要があります。

(2) 組織財政委員会を月1回定期化に各平和委員会・平和の会と蜜に話し合っていくことにします。各平和委員会の会議で仲間づくりのが常に話題になるようにするため仲間づくりが「重くなり会議に出るのが嫌になる」ようにならないように「創意工夫」が求められています。

4. 役割分担について

(1) 組織財政委員会：加藤・大和田(県北)、神長・高見沢(県央)、小久保・風間(鹿行)、水野・稲田(県南)、秋元・叶谷(県西)

(2) 学習教宣委員会：松原・飯村(他に問題別に協力してもらう方を見つける)

(3) 「米軍機来るな」対策委員会：飯村・水野・小久保・松原・大和田・加藤・山口・稲田・神長・松坂・伊達。

(4) 事務局体制(2週間に1回)：伊達・加藤・松原・飯村

(5) 日常の勤務体制：伊達=火・水・木。加藤=火・水・金4月から加藤さんに来てもらっていますが、まだ仕事の内容が分かりませんので伊達と2日間だぶっています。先々は変更します。

以上

米軍再編と百里基地

「米軍再編成」の本当のねらいはどこにあるのか。また、日本の自衛隊がなぜ積極的に米軍と共同歩調をとらなければならないのか。いま、全国の基地の実態はどうなっているのか。茨城ではどんな運動が要求されているのか。等々みんなで話し合しましょう。

日時 7月30日(日)午後1時30分開会

場所 茨城大学地域総合研究室3階研修室

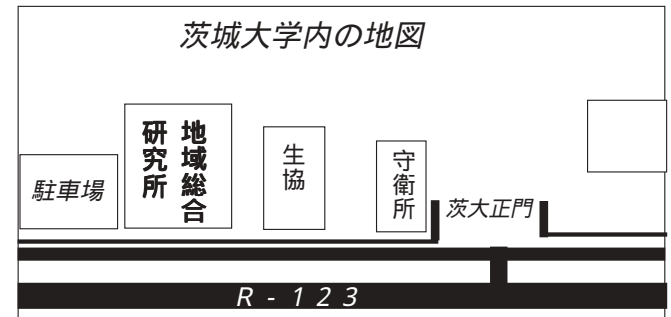
学習討論内容

第1部 学習会「米軍再編と百里基地」

講師 千坂 純(日本平和委員会事務局長)

第2部

米軍機F15来るな茨城実行委員会の報告と参加者での討論会



平和かわら版

442

月3回発行

2006.7.5

平和新聞茨城版

発行：茨城県平和委員会

〒310-0912 水戸市見川5-127-281

Tel/Fax 029-251-2806

E-mail ibahei@amber.plala.or.jp



原水爆禁止平和国民大行進茨城通し行進者報告

お年寄りに励まされて！ (第一日目)

6月29日16時から平潟公民館にて 加藤 岑生

私は今回、核戦争阻止、核兵器廃棄と被爆者援助を訴えることはもちろんのことですが、同時に県内の平和運動の実情を直に感じることを目的として茨城の通し行進に参加した。

私は原子力の研究開発に長年たずさわってきた技術者として核兵器の廃絶が大きな願いです。かつて、日本の原水爆禁止運動を初めとした国民の平和運動が大きな影響を与え、原子力の平和利用基本法が制定されました。今日、この精神である自主、民主、公開の平和利用三原則は歴代の政権により、アメリカの干渉と規制の従属、成果主義の導入など官僚のトップダウン的な研究の遂行、テロ対策による秘密主義の横行で大きく侵害されています。この傾向は、最近の米軍の再編に伴いアメリカのために戦争する体制に組み込まれ、一層深められようとしています。

さて、この様なことを思い、どのような人たちの巡り会いがあるのかドキドキしながら大津港駅に着きました。斉藤さんと福田さんが迎えてくれ、途中、84歳の前田さんを乗せ、平潟港の一望できる公民館に案内されました。福島からの行進団は途中激しい降雨に見舞われ到着が大きく遅れ、5時近くから引き継ぎ集会が行われました。司会は高萩市議の平さんが行い、福島の行進団を代表して医療協の佐藤さんが行進の途中町々に結成された9条の会の仲間に励まされながら激しい降雨にめげずに元気に行進してきたことを報告。これからの平和運動の決意を含めた引き継ぎの挨拶を受けました。茨城県側の挨拶として私が行い、現地の歓迎の挨拶として北茨城市議の鈴木さんが国民保護法の各自治体での制定状況これからの決意など、続いて茨城国公労の工藤さんがアスベスト被害の現状を、茨城コープの野地さんが昨年沖繩に行き実際の米軍基地をみた感想と平和の大切さを強く感じ9条を守ることの大切さを、22万3000人の組合員がいろんな形でこの行進を支えていること、そしてコープ9条の会が結成されたことが報告された。

84歳になる前田さん原水爆禁止平和行進が中だるみなのかと心配して「昔は大和田さんと一緒に戸々にカンパを御願ひして歩いたのになー」と懐かしそうに話していました。いつまでも元気に！、全国コース制覇まであと2コースの77歳の豊田さん、「山間のピラマキならまかしとおき！」と、高齢の方々の元気な姿が目立つ平潟公民館の引き継ぎ集会でした。

2006原水爆禁止世界大会

ー参加費試算表ー

県原水協は広島大会に参加いたします。目標を60名とします。

ことは、要望の多くなっているバスをチャーターします。すべての自治体・団体からの参加を呼びかけます。

参加区分	参加費	被爆援護 募金	国際連帯 募金	原水協募金 分担金	県原水協 分担金	交通費	宿泊代	合計
新幹線で参加の場合								
一般	¥6,500	¥1,000	¥500	¥5,500	¥6,000	¥38,000	¥15,500	¥73,000
被爆者・障害者	¥4,000		¥500	¥3,000	¥6,000	¥38,000	¥15,500	¥67,000
学生	¥4,000	¥1,000	¥500	¥2,000	¥4,000	¥38,000	¥15,500	¥65,000
高校生	¥2,000	¥1,000	¥500	¥500	¥2,000	¥38,000	¥15,500	¥59,500
バスで参加の場合 (8/3夜出発8/6の灯籠流しに参加し8/7昼帰茨)								
一般	¥6,500	¥1,000	¥500	¥5,500	¥6,000	¥20,000	¥15,500	¥55,000
被爆者・障害者	¥4,000		¥500	¥3,000	¥6,000	¥20,000	¥15,500	¥49,000
学生	¥4,000	¥1,000	¥500	¥2,000	¥4,000	¥20,000	¥15,500	¥47,000
高校生	¥2,000	¥1,000	¥500	¥500	¥2,000	¥20,000	¥15,500	¥41,500

06年度美和・緒川平和の会総会報告

美和・緒川平和の会 小林 茂

美和・緒川平和の会総会は6月18日、常陸大宮市のつじ荘で開きました。降雨にもかかわらず20名の出席がありました。05年度経過報告・決算、06年度事業計画・予算の審議を行い多くの意見が出され、原案通り承認されました。

本年度の目標として

- 1、平和を語り、仲間を増やして行動する会にしよう。
- 2、平知行政の推進を自治俸に要求しよう。
- 3、母親大会の応援をしよう。
- 4、「つどい」や「ツアー」に参加しよう。

の4点をあげました。

当面の活動としては

- 1、「大宮9条の会」発足にむけて賛同者を8月15日までに1000名にしよう。

- 2、原水爆禁止平和大行進水郡線コースに参加しよう。
 - 3、母親の全国、県、市の大会に参加しよう。
 - 4、学習会に積極的に参加しよう。
 - 5、戦争体験者の記録を残そう
 - 6、憲法を守り、戦争に反対する仲間を増やそう。
- の6点を決めました。

閉会の後、やすらぎの里公園でバーベキューを囲みながら懇談しましたが、その中で今の大官市議会の混乱ぶりが話題となり、来る市議会の選挙には民主的で市民の暮らしを守る候補を、当選させようと話されました。(市議会解散を求める住民投票は7月2目に行われ、圧倒的多数で解散が決まりました。)

事務局便
岡山県の会員から資料と案内を頼むと文が届いた。北茨城の「風船爆弾」勝田の「自衛施設学校」土浦隊「自衛隊」武器学校・自衛隊「武器学校」雄翔館「小美玉の「百里基地」神栖の「桜花」、そして鹿島神宮を、八月の何日から三日間、手配をお願いしますと。ちよっと...の感じはあるが、私も茨城の会員もまだ知らない事実があった。(ま)